



「主体的な学び」を促す 授業改善に向けて

平成29年度庄原市小・中学校
一斉学力調査結果から

教育指導課指導係
☎0824・73・1184



市教育委員会は、市内小・中学校の全児童生徒を対象に、本年1月、「庄原市小・中学校一斉学力調査」を実施しました。
本調査は、児童生徒一人一人に「基礎・基本の力」や「活用する力」が定着しているかを全国的な視野に立って把握し、各学校での授業改善や学習指導の充実を図ることを目的としています。

小学1・2年生は国語、算数の2教科、小学3～6年生は国語、社会、算数、理科の4教科、中学1～3年生は国語、社会、数学、理科、英語の5教科の調査を行いました。

結果はグラフのとおりで、中学3年生の数学以外が全国平均正答率を上回りました。特に、小学2年生の算数では10・4ポイント、小学6年生の理科では12・2ポイントと、全国平均を大きく上回っています。

各学校では、児童生徒一人一人の結果を全教職員で共有し、児童生徒のさらなる学力の向上に向けて改善計画を立てるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業づくりの工夫・改善に取り組んでいます。

市教育委員会は、日々の授業実践を大切にしながら、「ふるさとで学んだことに誇りをもち、活躍できる人材」「主体的に学び続け、協働しながら新しい価値を創造できる人材」の育成に向けた教育活動を積極的に推進します。

庄原市小・中学校一斉学力調査結果 (平成30年1月11日～17日実施)

